巻頭言

英文論文誌の改革について

編集長　関口　利男

英文論文誌の改善と充実については，歴代会長および関係者から常々強い要望が出されておりました．理事会はこれを受けて，検討委員会を発足させ，3年間にわたって慎重に検討され，ここで得られた改革案を編集会議および理事会に諮り，承認を得て1991年（平成3年）1月から実施することに致しました．この改革案の詳細は本会誌1990年（平成2年）5月号に発表されておりますが，要点は現在の和文論文のABCDに対応した各グループの英文論文編集委員会にそれぞれの企画・編集業務を全面的に委ね責任編集体制としたことと，国内外の著名な方々にアドバイザーとして参加頂き，強力な助言活動を期待したことであります．

英文論文誌を本学会が発行する意義は，（1）我が国の電子情報通信および関連分野の研究・開発の成果や各分野の活動状況を学会独自の機関誌によって広く世界に公開すべきであること，（2）これまでに多くの国際会議を主催し，また主催しようとしている学会として，国際語による定期的な論文発表は当然の義務であること，（3）我が国の科学・技術の現状から見て，特に東南アジア地域における研究・開発成果の発表機関誌としての役割を果たす必要があることなどにあると考えております．

この意義と改革の趣旨を達成させるために，まず英文論文誌を質的にも量的にも充実させ，外国人はもちろん，多くの国内会員にも読まれ，高い評価が得られることによって，投稿意欲も増し，優れた論文が増加するという良循環と国内外の著名な研究者の積極的な協力を期待し，改革の具体的成案が得られた次第です．お手元に配布された和文論文誌には各分冊に対応する英文論文が後部に綴じ込まれております．なお，合冊には本会研究会の発表目次が掲載されております．これは上述の良循環を期待し，更にこの改革案を順調に発展充実させるための第一歩です．改革の趣旨と内容をご理解頂き，ご支援をお願いする次第です．

本学会が発行している和文および英文論文誌の国際的な認知と評価の必要性については編集会議でも話題になり，その対策が急がれておりました．そこで，この改革の機会に，まず米国のInstitute for Scientific Information発行の“Science Citation Index”（SCI）および“Current Contents”に掲載方を要請すべきであるとの意見が出され，編集理事と論文課長が同社を訪問し，交渉した結果，新英文論文誌についてはSCIのonline versionに載せ，かつCurrent Contentsに掲載することを快く承諾して頂くことができました．これまでの実績評価のたまものであり，意を強くし，これからの和・英論文誌のますますの充実と発展を期待する次第です．

会　長	熊谷信昭	編　集　長	関口利男	北海道支部長	森下俊三
副会長	大越孝敬・古賀利郎	規格調査会委員長	柳井久義	東北支部長	梅　良之
	末松安晴・稲場文男	研究組織委員会委員長	榎本　肇	東京支部長	桑原守二
総務理事	佐々木元・甘利俊一	基礎・境界研究グループ運営委員会委員長	有本　卓	信越支部長	真柄成一
会計理事	西川清史・高梨裕文			北陸支部長	小泉卓也
編集理事	青山友紀・後藤　敏	通信研究グループ運営委員会委員長	安田靖彦	東海支部長	鈴村宣夫
	中村道治・原島　博			関西支部長	山本誠實
企画理事	下村尚久・田崎公郎	エレクトロニクス研究グループ運営委員会委員長	佐々木昭夫	中国支部長	中山　浩
調査理事	堀口孝雄・柳川隆之			四国支部長	牛田明夫
監　事	黒川兼行・池田博昌	情報・システム研究グループ運営委員会委員長	辻　三郎	九州支部長	長田　正

社団法人 電子情報通信学会　105　東京都港区芝公園3-5-8　機械振興会館内　電話(03)3433-6691(代)　振替口座　東京2-35300番